

クラウドファンディングのお礼

るーもでは、令和3年5月から7月にかけて、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」において、クラウドファンディングの募集を行いました。約1ヶ月半の間に、ありがとうございました。ご支援・ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

いただいたご寄付は、子どもの最善の利益を実現してゆくため、設備投資、人件費、食料品及び日用品費などに充てさせていただきます。

今回のクラウドファンディングを通じて、るーもは本当にたくさんの方々に支えていただき、運営ができていることを改めて感じました。今後も、子どもたちに充実した支援をしていけるよう尽力してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

運営委員 中山

事務局移転のお知らせ

日頃よりあたかいご支援を賜りありがとうございます。
この度、右記住所に法人事務局が移転いたしました。
電話番号等の変更はございません。
今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【移転先】
〒640-8276
和歌山市作事丁38番地
特定非営利活動法人子どもセンターるーも
TEL.073-425-6060
Email.lumo0228@gmail.com

ご支援の方法

正会員・賛助会員になって、子どもたちと一緒に支えて下さい。

ご寄付をお願いします。金額は問いません。

お寄せいただいたご寄付は、子どもたちのために活かされます。

ボランティアとして参加をお願いします。
シェルターにはたくさんの人の力が必要です。

「子どもセンターるーも」の研修、イベント活動、広報活動など、
可能な形でご参加ください。

会員・寄付	正会員／入会金 5,000円 年会費 5,000円 賛助会員／個人1口 3,000円(年間) 法人1口 10,000円(年間)
振込先	銀行名／きのくに信用金庫 本店営業部 口座番号／2629421 口座名義人／NPO法人子どもセンターるーも
	銀行名／ゆうちょ銀行 口座番号／14730-16476891 口座名義人／特定非営利活動法人子どもセンターるーも トクヒ)コドモセンタールーも

事務局

特定非営利活動法人「子どもセンターるーも」
〒640-8276 和歌山市作事丁38番地

お問い合わせ先

073-425-6060
受付時間 10時～17時まで



Facebook「子どもセンターるーも」 子どもセンターるーもの情報、活動などを配信しています！

特定非営利活動法人
子どもセンターるーも

NO. 12
発行日 / 2022年4月吉日

News Letter

スタッフより ~食事作り~

食事の用意をすることは、日頃、家でもやっていることだから、とあまり深く考えずに始めた宿直のボランティアでした。月に一度程度のボランティアで約一年が経ち、スタッフの一員となりました。勤務日数も増え、当然、食事を作る機会も増えました。そうなると同じメニューの繰り返しというわけにもいかず、子ども達が好きそうで美味しい、かつ、手順が簡単なレシピをあちこち探し、自分なりのレシピ本を作成するようになりました。美味しい!と言つてもらえることを心の底に待ち望み、何よりも食べてもらえることを目標にしています。ある日の夕食の配膳時、決してご馳走というメニューではなかったのですが、「やっぱっ!上手そう!」と。一口食べて、「美味しい!」と言ってくれたことがありました。とても嬉しく感激した一言でした。また、食事を作っている時に、「今日は何?」と聞いてくる子どもがいます。単調な日々の中、食べるごとを楽しみにしてくれる健康的な食事作りを大切にして行きたいと思います。

一人の時間（空間）も持てる、でも一人きりではない。寄り添ってくれる安心できる大人がいる。話を丁寧に聴いてくれる。自分のありのままを受け入れてくれる。『るーも』が、子ども達にとってそう感じることのできる『家』となるよう努めてまいりたいと思います。

スタッフ A



「お菓子作り」



「お菓子作り」



「ひな祭り」



「お菓子作り」

令和3年度ボランティア養成講座開催

下記の内容で、子どもシェルターるーもボランティア養成講座を開催しました。

1日目

①『子どもシェルターの役割と必要性』

講師：中山 良平氏（るーも運営委員・弁護士）

②『体罰の禁止～児童福祉法改正を中心に～』

講師：土井 智也氏（るーも理事・弁護士）

③『ティーントリプルP（思春期の子どもと向き合うために）』

講師：家本 めぐみ氏（和歌山県虐待防止協会副会長・タドル和歌山代表）

④『虐待を受けた子どもへの支援～とくに思春期世代について』

講師：衣斐 哲臣氏（和歌山大学教職大学院教授・臨床心理士）



続いて、和歌山県虐待防止協会副会長でタドル和歌山代

表の家本めぐみ氏から、「ティーントリプルP」をテーマに、

親が思春期の子どもと接する際に注意すべき点や、体罰によ
らない子育てのための工夫等について、受講者からの発言
も交えながらお話をいただきました。

1日目の最後は、和歌山大学教職大学院教授で臨床心理

士の衣斐哲臣氏より、「虐待を受けた子どもへの支援～とく

に思春期世代について」をテーマに講義を受けました。思

春期世代が虐待を受けることにより心や脳に生じる影響やトラウマ等について、人気アニメのキャラクターを題材に
しながらお話をいただきました。



2日目

①『児童相談所の心理司の実践から』

講師：北川 朋子氏（和歌山県子ども・女性・障害者相談センター家庭支援課主査）

②『精神科医からみた子どもへの支援』

講師：松岡 円氏（児童精神科医）

③『里親活動について』

講師：平 須賀氏（和歌山県里親支援センターなでしこ主任支援相談員）
他、2名の里親さんからの体験談

④『子どもシェルタースタッフ・ボランティアの活動』

講師：るーもスタッフ・ボランティア

令和3年12月11日(土)と12月18日(土)の2日間にわたってボランティア養成講座が開催されました。今年度も、
昨年度と同様、1講座を60分程度として、各分野の専門家をお呼びし、合計8つの講座を開催しました。

両日ともに30名近くの参加者があり、講座修了後にはたくさんの方からボランティアの登録をいただくことができ
ました。

以下、当日の様子を簡単にご報告いたします。

1日目1講座目は、「子どもシェルターの必要性と役割」をテーマに、るーも運営委員で弁護士の中山良平氏より、
子どもシェルターるーもに関する説明として、子どもの入居から退去までの流れや、シェルター内の生活等につい
てお話をいただきました。

次に、るーも理事で弁護士の土井智也氏から、「体罰の禁止」をテーマにお話をいただきました。児童福祉法等の改
正により体罰の禁止が明文化されたことに加え、親権者における懲戒権の範囲や、児童の安全確保に向けた行政上
の取組み等につき、詳しくご説明いただきました。

2日目1講座目は、児童相談所職員で臨床心理士の北川朋子氏から、児童相談所の説明に加えて、児童相談所に
おける心理職の役割や、実体験を通して感じたこと等についてお話をいただきました。児童と面接する際の注意点な
ども丁寧にご説明いただき、子どもを支援する上で大変参考になりました。

2講座目は、児童精神科医の松岡円氏より、「精神科医からみた子どもへの支援」をテーマに講義を受けました。
受講者にも発言を求めながら、「子どもの個性」に焦点を当ててお話をいただき、シェルター等の環境における子ども
の関わりについて理解を深めることができました。

3講座目は、「里親活動について」をテーマに、里親支援センター支援相談員の平須賀氏や里親さんから、里親制
度や里親としての体験談等についてお話をいただきました。シェルター退去後に里親制度を利用することもあります
が、実際の里親さんから、子どもを引き受け養育することにつき実体験を元にご説明いただき、具体的なイメージ
を持つことができました。

講座の最後は、子どもシェルターるーもスタッフ・ボランティアの方より、実際の活動内容をお話をいただきました。
現場スタッフの抱える悩みや、ボランティアとして子どもと接する中でのやりがい等について、これまでの経験を踏
まえながらお話してくださいました。

2日間にわたり、虐待や体罰に関する法的知識・医学的知識に加え、思春期の子どもと接する際に注意すべきこと、
シェルター退去後の子どもの支援方法等について、各分野におけるエキスパートから大変貴重なお話を聞くことができ
、運営委員やシェルタースタッ夫にとっても、非常に有意義な時間となりました。今回の講座を踏まえ、今後も、居
場所を必要としている子ども達の支援に尽力して参りたいと思います。

運営委員：手押